五夕日刊
磐城時報
福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷人
印刷所　福島縣石城郡平町紺屋町十四　加納活版所
發行所　福島縣石城郡平町紺屋町十四　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五拾錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

第三區の四候補
愈々言論戰に入る
鈴木派では七日から三郡に亘つて遊説

第三區に於ける衆議院議員候補者は民政黨比佐昌平氏、家清氏政友會鈴木辰三郎氏、佐藤庄太郎氏の四氏が前回選擧同樣轡を揃えて出馬し何れも準備を整えて實戰に移らんとしてゐるが、鈴木派では七日鹿島小學校を振出しに石城郡内隈なく遊説する事となり左の如く日割を決定したが、佐藤派でも七日から相馬双葉兩郡下全町村に亘つて言論戰を試みる事となつた。民政黨比佐派でも同じく七日から言論戰の火蓋を切る筈である。

▲鈴木派遊説日割
▲七日鹿島、高久、飯野、夏井▲八日草野、江名、神谷、豊間▲九日赤井、平窪、小川好間▲十日磐崎、泉玉川、小名濱▲十一日川部、箕輪、内郷▲十二日勿來、合戸、三阪▲十三日川前、石住▲十四日湯本、好間、内郷、平▲十五日大野、四倉、大浦、内郷、▲十六日、十七日双葉、相馬▲十八日内郷、平。

新川工事
けふ着工

平、飯野、内郷三ヶ町村聯合水害豫防組合の新川改修工事昭和六年度分の工事は五日から工費七千三百九十圓で着工した、三月末までには竣工の豫定で使役人夫は平職業紹介で斡旋する筈である。

休日でも事務取扱

平郵便局では舊正月のため七日十一日、十四日は休日であるが平常通り事務取扱ひをなす。

舊正月初賣出しの日
交通事故防止
乘合自動車は町内運轉禁止

平町に於ける自動車營業者は舊正月二日の初賣出し當日例年通り平町内の雜踏を呈するものとさゝる事になつた。考へ交通事故防止のため左の個所に停車せしめ町内の運轉をなさゞる事になつた。

▲四倉方面六丁目變電所脇角まで▲小川赤井方面搔搥小路魁文堂脇▲湯本方面長橋町▲小名濱方面月見町片倉製糸工場前▲好間方面縣社子鍬倉神社下。

▲石島氏寄附

四倉町本町石島德長氏は此程四倉居住の貧困者救濟として四倉署内人事相談所に餅米參俵を寄附した。

水道工事人夫の賃銀値上げ
物價が昂騰したため

平町の水道擴張工事は目下九十名の人夫を使役してゐるが、政變以來物價が騰貴し日用品として欠く事の出來ぬ白米も値上げされたので平町では五日水道委員會を開き現在の賃銀一日八十錢を八十五錢に値上げする事とした。

水難救濟會
優良組員表彰

四倉町水難救濟會第四回總會は六日午前十時より同町四倉座に關催優良會員の表彰を行なふと

優良漁獲船と船長表彰

四倉町漁業組合に於ては六日午前十時より四倉座に於て優良漁護船主及び船長の表彰式を執行すると。

入學兒童が增加
各町村で手を燒く
收容しきれぬ狀態

石城郡下各小學校では逐年增加する入學兒童の收容難に苦しみ財政難の折柄辛うじて彌縫的の對策として教室の變更增設等により七十人から八十人近くの兒童を一學級に收容し教育してゐるが、かくの如き狀態では徹底的の教育を行ふ事は困難で形式的に終りがちなので識者間に憂慮されてゐる。

勿來町で知事に陳情

初巡視の村井知事は二日石城中部を三日、植田、勿來、小名濱の濱通り視察を終了したが、勿來町では地方産業交通開發上是非實現を計るべき問題多く、これを好機に

三株線道路改修、入會山、同兼國有林に通ずる林道軌道の敷設、勿來九面トンネルの改修、勿來關趾に通ずる道路の改修

等四懸案の實現促進の陳情をなすところがあつた。

救護法による委員定數

去月一日から實施された救護法により共議委員を設立すべき町村及定數は今六日各町村役場に通牒があつた。

平十三名、植田三名、勿來三名、小名濱四名、江名三名、磐崎三名、湯本五名、内郷七名、永戸箕輪三名、四倉三名小川二名、川前二名。

窃盜青年再び檢擧

過般平町磐城訓育院から院主の衣類等を窃取して平署に檢擧された茨城縣助川町生れの橋本高（二二）は平區で起訴猶豫となり釋放されて平自營會に引取られたが、此程また〳〵自營會から衣類現金等を窃取更に同町尼子亭から衣類四点を窃取した外五件の窃盜を働いた爲め三日再び平署に檢擧された。

夏井川の魚類が逐年減少する
炭礦機械油のため漁業者が防止の陳情

平町では目下夏井川に於ける魚族に及ぼす上流地方一帶の水利は水力等各種事業の影響を調査中であるが、昨年中の同川漁獲高

▲鮭二百十貫二百十圓▲鮎五十貫百二十五圓▲鰻八十貫二百圓▲うぐひ五十貫二十五圓で年々五分乃至一割の漸減數字を辿つてをり是が原因として上流石城郡川前村地内外各發電所から流入する機械油、同赤井村福島赤井炭礦からの坑内排水による惡水のため魚族の棲息が脅かされる結果と判明縣に報告する事となつたが、河川漁業者は此の機を捉へて惡水防止の陳情を行ひ反對運動に出る模樣である。

暖氣のため炭礦打撃

平地方の變調氣温も漸く三日の降雪で本調子に歸へつた模樣であるが、時節外れの馬鹿陽氣で磐城地方の各炭礦が蒙つた出炭減による損害は一日約三十車即ち四百五十噸價格四千圓平均であつて、之を昨冬からの累計數字にしてみると内輪にみて三萬一千五百噸約三十萬圓となる譯で總出炭高の一割弱に當つてる

けふ「立春」
本年寒中の温度は五十年來の暖かさ

けふ春立つ―四日の節分で寒三十日も明け、五日は「立春」暦にもいよ〳〵冬つきて春迎ふる日となつた。

今年の寒中の暖かさは小名濱測候所開設以來の奇現象で一月中の平均温度は攝氏三、六度、華氏三八、五度であつた、同測候所の記錄に殘る五十年間における一月中の平均最高温度は二、七であつたが、今年はそれより攝氏一度を突破してゐるわけである。

石城郡内の産業組合

石城郡下における産業組合は現在二十六組合中半數以上は信用組合を兼營し銀行休業による地方金融の硬塞を緩和し組合を利用するものが激增した外購販利用の各組合がそれ〳〵地方的に合致した組織を以て進み産業開發の重大なる指導機關となる傾向にあり將來を期待されてゐる

二日郡産業組合の調査の結果によれば左の如し

組合員	七、九六八人
出資總額	八四五、五四〇円
拂込濟出資金	五九一、七一一
準備金及諸積立金	二〇七、〇七二
借入金	四〇三、一五四
貯金	六四〇、三七〇
貸付金（手形割引ヲ含ム）	一、三二一、三二三
販賣高	一七一、九〇八
購買高	三六八、八五三
利用料	三一、五七六
預ケ金	一一八、二八五
有價證券	五、五四一

社告

明六日は舊正月元旦につき工場員慰安のため臨時休刊仕候間御諒承願上候

磐城時報社

山間方部一尺五寸の雪

石城山間地方は二日夜から三日にかけて大雪におそはれ川前村は二尺五寸、三坂、澤渡、永戸方面は一尺五寸の積雪を見た。

舊正月二日・三日
壚屋の初賣
吉例福引大賣し
午前一時開店―午後五時迄
平町土橋
山崎合名會社
電話十番

例景品付大賣出し
吉
金輸出再禁止前の安値仕入品を更にお努めの破格提供!!
舊正月二日・三日・四日・三日間
ふかや洋服店

大塚の二日市…初賣
一日 二日 三日 四日 の四日間 どこよりも良い 景品大奮發
二日市 午前一時開店仕候 一番さんより二十番までの御客様に 特別景品 進呈
靴は堅い定評ある大塚の靴
運動具は…專門的…豐富（商品切手御利用を）
どこよりも安い…大塚へ
大塚支店 製靴部 運動具部
平町田町 電話七七番

吉田眼科病院
平町紺屋町 電話六八番

かまぼこ
折詰仕出し
御惣菜用さつま揚、吉原揚
平町二丁目
藤市蒲鉾店
電話三〇五番

電話賣物あり
番號のよい電話を格安に讓る
平町字五丁目二二
佐々木株式店
電話二五三番

耳鼻咽喉科 專門
氣管食道科
病室完備…自炊の便あり
平町南町
電話一七〇番
大和田醫院

融通低利　蓄積安心
三年無盡
大藏大臣免許
湯本信用無盡會社
電話四七番

胃腸 專門
内科 十二指腸虫病
梅毒 專門
淋病 婦人病 皮膚病
松村胃性腸病科醫院
平町南町（電話一〇七）

鼻の藥 チクノール
平五 山野邊藥局

佛國マルソー會社元詰
生葡萄酒
マルソー・プランク・白
マルソー・ルージ・赤 ℱ1.10
良品にして安價賣行飛ぶが如し
西村屋藥局

東京大名題
嘗ては映畫界の覇王、眼玉の松チヤンと腕くらべをした
澤村四郎五郎丈
外幹部數十名 來演
▲初日（狂言毎夜替り）▲二日
一、御目見得だんまり
一、大盃腸酒戰强者
一、稻葉小僧新助
一、熊谷陣屋
一、御目見得だんまり
一、辨慶上使
一、赤垣源藏
一、天狗上野初花
舊正月元旦（六日）より
聚樂館

債券、公債、兩替金融
多田井質店
平町大工町（電話五九一番）

專門 内科一般
内科ハ何デモ診療致マス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五改（電話一八一番）
川井内科診療所
醫學士 川井重之
女醫 川井安子

家傳秘法
腫物湯
のんで効くはれ物の妙藥
主効
一●面疔●よう●乳の腫れ●指のはれ●林巴腺の腫れ
一●耳鼻のおでき●骨膜炎●筋炎●はれ物手術の前後
一等よし
◎特にかほのおでき、乳のはれは切らずに治り醜き痕を殘さず美容上最適の治療劑なり
定價 五十錢 七十錢 一圓十錢 一圓五十錢
特約店
平町四丁目 小野藥店　四ッ倉町 荒川藥店
植田町 松本藥店　富岡町 莊野藥店
湯本町 岩瀬屋藥店
腫物湯 肋膜湯 製劑所
茨城縣下孫 磯野健生堂